

08年秋 巻機山集中

奈良沢・三ッ石沢

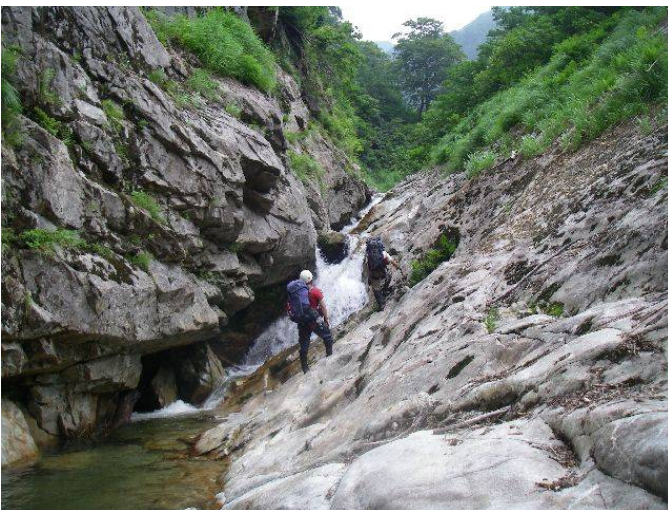
2008年9月13～15日

メンバーL菊地(記) 田中、白土

9月13日(曇り)

八木沢ダムよりチャーターしたボートで奈良沢バックウオーターまで入るが、さすがエンジン付きは早くあつと言う間に着いてしまう。奈良沢はひたすら単調なゴー口が続きいい加減飽きた頃ようやく右から平行する様に三ッ石沢が出会う。

ナメ状の2m滝をかわきりにゴー口



は消え滝が続くようになり、流れはすぐ右に大きく曲がる。左からは10m滝で中三ッ石沢が出会う。その後も釜を持つ滝が多いが意外と登れる物が多く楽しい。再び本流は左に大きく曲がりスラブ状15m滝が掛かる。左壁の斜めバンドをトラバースするが一部かぶり気味で少々肝を冷やす。

右岸の草付きから滝を3つ巻くと両方から綺麗なナメ滝が合わさる。その先は狭いゴルジュが続くが側壁は低く明るい。2番手山に向かう沢との二俣を過ぎるとスノーブリッジは無いが、雪溪の小さな破片が残るのみ。少し行くと目の前に狭そうなチムニが立ちはだかる。高さは10m程だがとても体は入りそうもない。少し戻って右岸から大高巻きとなるが、久々の大

巻きに皆お疲れモードとなり、流れにも戻って少し進んだ右岸の僅かな河原に幕営。焚き火をしていると勢い良く雨が降り出したが30分程で止みその後は降らなかった。

9月14日(曇り)

出発直後から淵が現れるが、朝一で泳ぎは勘弁なのでへつりで越える。その後も小滝や淵が続くと出ました50m滝！右壁下段は登れそうだが上段のバンド間隔が広すぎて一見厳しそうなので、無難に左壁のカンテから草付きに抜け1本沢を跨ぎ、更にトラバースで2m滝の先に出る。



5m滝を右壁から回りこむ様に越えると、その先は穏やかな溪相となり一気にリラックスモードとなる。本流はまだまだ続いているが、戻るのが大変なので三ッ石山に突き上げる沢に入りそれ程ボサに悩まされず稜線に抜ける事が出来た。

稜線から僅かで三ッ石山山頂だが一面笹藪で不用意に物を置くと見つけるのが大変そう。稜線はうっすら踏み跡があり最初、腰程度の笹藪だったが次第にブッシュが混じるようになる。

余り進むとツエルト張るのが大変なので、時間は早いですが、三ッ石山の次のピークを越えたコル手前の1段長松沢側に降りたポツカリ藪の無い場所に幕営。夜は満月で、山々のシルエットが浮かび上がり、谷の流れが音も無くキラキラ輝くさまに暫し見とれてしまう。



9月15日(曇り時々雨後曇り)

まだ先が長く藪の状態も判らないので早めに出発する。雨は降っていないが、笹に付いたタツプリの朝露でたちまち全身ずぶ濡れで、早くも戦意喪失状態。時折背丈を越える笹藪や這い松等の灌木が混じるが概ね腰程度の素直な笹藪で思ったより順調なペース。牛ヶ岳が近くなると笹も低くなり景色を眺めたり木の実を食べながら最後の藪歩き



を楽しむ。やがて笹から草原と池糖の風景へと変わると牛ヶ岳も近い。山頂で定時交信すると下ゴトウジパーティは藪に難儀している様だ。牛ヶ岳からは登山道があり、当たり前だが足元が見えてとても歩き易い。巻機山の下りで金井さんと合流し改築で立派になった避難小屋で他のメンバーを待つ。

コースタイム

9月13日 奈良沢入溪 7:20 ~ 中三ツ沢 9:12 ~ 両門ナメ 11:45 ~ 二俣 12:50 ~ 幕営地 17:00

9月14日 幕営地 6:55 ~ 50m 滝下 8:20・8:40 ~ 三ツ石山に突き上げる沢の出合 11:30 ~ 三ツ石山 12:55・13:30 ~ 幕営地 14:05

9月15日 幕営地 5:50 ~ 1681mピーク 7:00・7:20 ~ 長松山 8:05 ~ 牛ヶ岳 10:45・11:10 ~ 避難小屋 11:45 ~ 桜坂駐車場 16:35

地形図：奥利根湖、巻機山

